

競技注意事項

本大会は2021年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

1. 練習について

- (1) 練習は、前頁記載の練習時間の使用日程に従い実施すること。
- (2) 本競技場での投てき練習は、指定された種目・時間以外禁止する。その際、監督の付添のもと危険防止に努めること。

2. 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート側器具庫内に設ける。
- (2) 招集開始（点呼開始）および招集完了時刻（移動開始）は下記のとおりである。

| | 招集開始時刻(点呼開始) | 招集完了時刻(移動開始) |
|------|--------------|--------------|
| トラック | 競技開始 30 分前 | 競技開始 15 分前 |
| 跳躍 | 競技開始 50 分前 | 競技開始 40 分前 |
| 投てき | 競技開始 50 分前 | 競技開始 40 分前 |
| 棒高跳 | 競技開始 60 分前 | 競技開始 50 分前 |

- (3) 混成競技の招集は招集所で第1日目及び第2日目の最初の競技時間の30分前に開始し、20分前に完了する。以降、競技者は招集完了時刻までに現地に集合すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際競技者係にユニホームのナンバーを見せ、確認を受けた後（跳躍競技はすべて、胸部または背部のいずれか一方でもよい）、競技者係の誘導で競技場に入場する。

2種目以上（例えばトラック競技とフィールド競技）を同時刻に兼ねて出場する競技者、棄権については、必ず所定の届け出用紙を提出すること。

3. 競技場への入退場

- (1) 入退場は競技者係の指示に従って整然と行う。
- (2) 当該種目出場の競技者以外競技場内に立ち入ることができない。

4. 競技について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイムが出た時は、下記の方法で決定する。
 - ①100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者（チーム）については、判定写真を拡大し細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
 - ②1500m・3000mSCの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。
- (3) スパイクシューズのピンは、全天候舗装のトラックであるので9mm以下とする。但し、走高跳とやり投は12mm以下とする。靴底の厚さは、800m未満のトラック種目：最大20mm、800m以上のトラック種目：最大25mmとする。但し、日本陸連の通達により2023年3月までの適用除外措置として、フィールド競技用シューズの靴底厚確認のための計測は不要とする。

1 陸上競技

- (4) トラック競技の準決勝以後と、フィールド競技の決勝については主催者側で公平に組合せの上、抽選し、レーン順、試技順は記録掲示板に提示する。
- (5) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載のナンバーの左1・2・3……の数字で示す。
- (6) アスリートビブスを着用する時は、切ったり、曲げたり、またいかなる方法でもかくしてはならない。きちんと止め、ナンバーがよく見えるようにすること。
- (7) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むこともできない。しかし、ビデオを見せることは認める。ただし、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のために競技区域から離脱する行為は認めない。
- (8) 三段跳の踏切板は、男子11m、女子9mとする。

5. バーの上げ方について 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

| 種目 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 以後1人になるまで |
|----------|-------|-------|-------|------------------|------------------------|-------|----------------|
| 走高跳(男) | 1 m60 | 1 m65 | 1 m70 | 1 m75 | 1 m80 | 1 m85 | 1 m85から3 cm ずつ |
| 走高跳(女) | 1 m25 | 1 m30 | 1 m35 | 1 m40 | 1 m45 | 1 m50 | 1 m50から3 cm ずつ |
| 棒高跳(男) | 任意 | 3 m00 | 3 m20 | 3 m80までは20cm きざみ | 3 m80～4 m50までは10cm きざみ | 4 m50 | 4 m50以降5 cm ずつ |
| 棒高跳(女) | 任意 | 2 m00 | 2 m20 | 2 m40 | 2 m40～3 m00までは10cm きざみ | 3 m00 | 3 m00以降5 cm ずつ |
| 八種走高跳(男) | 1 m20 | 1 m25 | 1 m28 | 1 m31 | 1 m34 | 1 m37 | 3 cm ずつ |
| 七種走高跳(女) | 1 m00 | 1 m05 | 1 m08 | 1 m11 | 1 m14 | 1 m17 | |

上記以外のバーの上げ方と、天候その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は審判長が決める。

第1位が同記録の場合の、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2 cm、棒高跳5 cm とする。(代表決定も同様に行う)

6. 用器具について

用器具は棒高跳、やり投を除き主催者の用意したものを使用すること。やりの検定については競技開始90分前にゴール付近の器具庫内で行い、合格したものに限り使用することができる。

7. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者を表彰し、賞状を授与する。
- (2) 男女とも総合6位、トラック及びフィールドは3位までの学校を表彰する。

8. 諸届出について

- (1) 抗議は競技規則第146条に従って、定められた時間内に各校監督などが口頭で審判長に行う。
- (2) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

- リレー競走に出場するチームは、その種目（1組）の招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し予選に準じて招集完了1時間前までに提出すること。
- リレー・オーダー用紙は、招集所に用意しておく。

(3) 提出書類は次の表のとおりとする。

| | 提出書類 | 提出場所 | 提出時間 |
|---|----------|------------|--------------------------------|
| ① | 棄権届 | 競技者係（招集所） | 招集開始時刻まで |
| ② | 2種目同時出場届 | 同上 | 同上 |
| ③ | リレーオーダー届 | 同上 | その種目1組の招集完了時刻1時間前まで |
| ④ | 抗議申立書 | 総務（預託金1万円） | 結果の正式発表後、予選・準決勝は15分以内、決勝は30分以内 |
| ⑤ | 記録証交付願 | 本部 総務 | 記録発表30分後から、全競技終了30分後まで（300円） |

9. その他

- (1) 選手は、運動時以外は必ずマスクを着用すること。また日本陸上競技連盟及び島根陸上競技協会が指定する、新型コロナウイルスについてのガイダンスに沿って、事前健康チェックをし、大会当日必ず検温を行い、37.5℃以上の発熱等の異常が認められない場合のみ参加を認める。また、「体調管理チェックシート」を大会当日持参し、大会本部へ提出すること。提出の無い場合出場出来ない。
- (2) 発病、負傷に対しては応急措置以外の責任は負わない。医務室は本部席に置く。
- (3) 衣類および携行品の各1品ごとに製造業者名を付けることができるが、その大きさは面積40・縦4cm以内で1ヶ所とする。
- (4) 更衣室は指定された場所を使用すること。貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (5) 競技は学校対抗とし、種目別に1位8点、以下8位1点とする。
総合得点は（トラック・フィールド・混成競技合計）（トラック）（フィールド）別に男、女の得点順位を決定する。
- (6) 各種目6位までの入賞者（入賞チーム）が中国大会への出場資格を得る。走高跳と棒高跳は6位までの入賞者6名とする。但し、混成競技・競歩・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。
- (7) 今大会は、国体予選会を兼ねる。
- (8) 各学校毎の弁当の受け渡し場所は、競技場正面玄関付近とする。なお、空容器は当日15時迄に搬出すること。15時以後は各学校毎に持ち帰ること。

1 陸上競技

競技会で使用する略語・略号

1 スタートリスト・リザルトに用いる略語・略号

| 略号 | 日本語表記 |
|-------|--------------------|
| D N S | 欠場 |
| D N F | 途中棄権 |
| N M | 記録なし |
| D Q | 失格 |
| ○ | 成功・有効試技(走高跳・棒高跳) |
| × | 失敗・無効試技(フィールド競技) |
| — | パス(フィールド競技) |
| r | 試合放棄(離脱) |
| Q | 順位による通過者 |
| q | 記録による通過者 |
| q R | 救済および審判長等の決定による通過者 |
| q J | ジュリーの決定による通過者 |
| < | ベント・ニー(競歩) |
| ～ | ロス・オブ・コンタクト(競歩) |
| Y C | 警告 |
| Y R C | 2回目の警告 |
| R C | レッドカードによる失格 |

2 記録用紙、電光掲示盤等で用いる略語・略号

| 略号 | 日本語表記 |
|-------|-------------------|
| W R | 世界記録 |
| =W R | 世界タイ記録 |
| W I R | 室内世界記録 |
| =W I | 室内世界タイ記録 |
| W J R | ジュニア(U20)世界記録 |
| =W J | ジュニア(U20)世界タイ記録 |
| W J I | 室内ジュニア(U20)世界記録 |
| =J I | 室内ジュニア(U20)世界タイ記録 |
| N R | 日本記録 |
| =N R | 日本タイ記録 |
| N I R | 室内日本記録 |
| =N I | 室内日本タイ記録 |
| N J R | ジュニア(U20)日本記録 |
| =N J | ジュニア(U20)日本タイ記録 |
| N J I | 室内ジュニア(U20)日本記録 |
| =I J | 室内ジュニア(U20)日本タイ記録 |
| G R | 大会記録 |
| =G R | 大会タイ記録 |

失格の理由を示す略号(例)

| 略号 | 内容 |
|----|------------------------------------|
| FS | 不正スタート |
| T1 | 他の競技者を妨害した |
| T2 | 他のレーンに入った |
| T3 | 縁石のうえ、内側ライン上またはその内側を走った |
| T4 | ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った |
| T5 | 競技者がトラックから勝手に離脱した |
| T6 | ハードルを越えなかった |
| T7 | 足又は脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った |
| T8 | 故意にハードルを倒した |
| R1 | テイク・オーバーゾーン内でバトンパスが完了しなかった |
| K1 | ロス・オブ・コンタクトで3名以上がレッドカードをだした |
| K2 | ベント・ニーで3名以上がレッドカードをだした |
| K3 | ロス・オブ・コンタクトとベント・ニーで3名以上がレッドカードをだした |
| K4 | ロス・オブ・コンタクトで競歩主任が単独で失格にした |
| K5 | ベント・ニーで競歩主任が単独で失格にした |